



## — ウナギの妖精「うないさん」も飛び入り参加 —

節分祭・平成26年2月3日

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

# 社報 あそみや

平成26年3月15日

第 59 号

発行所

阿蘇神社社務所  
多良見町化屋862  
☎ 0957-43-5235

## 夢に向かって

阿蘇神社  
宮司 大島 大明

明治維新に大きな影響を与えた人物の一人である吉田松陰。若くして此の世をされることとなつたが、彼が残した幾多のことばは、現代の社会にも通づるものが多い。

「夢なき者に成功なし」もその一

つで、希望を胸に秘め、新たな道に進もうとする人への最高のはなむけの言葉であると思う。近年スポーツ界、芸能界などで活躍をしている人の多くは、夢があることの成功者といえる。

### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと  
一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと  
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

明治九年七月に札幌農学校教頭として着任したクラーク博士の名言「少年よ、大志を抱け」も松陰の言葉に相通じるものを感じる。春は巣立ちの季節。夢に向かって大きく飛び立つて欲しい。(吉田松陰)

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし。

## 恒例

# 節分祭志なく終了!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日に斎行されました。天候にも恵まれ、一年間の福を求める参拝者で境内は大いに賑わいました。

午後五時、殿内で氏子崇敬者の一年間の開運招福を祈る「節分祭」が斎行されました。宮司の祝詞奏上に続々神社総代が玉串を捧げて拝礼を行いました。

引き続き本殿前の斎場では旧中の御神札・御守・破魔矢・熊手など神社に縁ある品々を焼き上げる①火焼神事(ほやきしんじ)が行

われ、祭典終了後に総代の手によつて火が着けられました。

豆撒き行事には、午(ウマ)歳生

れの年男・年女が三回に分かれて境内の特設舞台から②豆撒きを行いました。今年は諫早市のユルキヤ

ラ・本明川のウナギの妖精「うないさん」が登場、舞台に上がりて豆撒きに参加して、大きな声援を

受けました。境内には多良見町商工会の青年部、女性部などの③出店があり阿蘇神社の節分祭は賑わいました。

境内には多良見町商工会の青年部、女性部などの③出店があり阿蘇神社の節分祭は賑わいました。また福豆の景品を提供や運営のための協賛金など多くの商店・商工関係者にはご苦労をお掛けしました。また福豆の景品を提供や運営のための協賛金など多くの商店・商工関係者にはご苦労をお掛けしました。

◆節分祭への奉納◆

- ・福豆 白岩豆店殿
- ・初穂料 八江利春殿
- ・藤産業 長崎支店、阿蘇神社、レ
- ・カーセンター三根、十八銀行、
- ・㈱マツヤ、ポーラ化粧品たらみ、
- ・㈲十善商店、たちばな信用金庫、
- ・タナカ自動車、木村装束店、㈱加
- ・㈱森開発、チャイナハ
- ・ウスあすか、松尾ビル、㈱森住宅
- ・㈱小島工作所、もり玩具店、㈲三
- ・仲電機、レストラン松新、マツショ
- ・ウ、V・ファーレン長崎、森田薬
- ・局、㈲森商会、写真室やまさき、
- ・多良見町商工会女性部、大草自動
- ・車整備工場、㈱ジー・ゼブン、㈲後
- ・田塗料商事、高屋設備、蓮創アル
- ・ミ、いちごや、事務機のミヤジマ、
- ・㈲菅原産業、セントーロード工業
- ・長崎、揚子江、たらみ葬儀社、み
- ・る塾、多良見住宅、㈲喜々津青
- ・果、㈲丸創建材店、㈲みづほ、㈲
- ・南部建設工業、㈱長崎スクラップ
- ・センター、㈱清紀運輸、㈱ナカム
- ・ラ、喜々津ホーム、はんセンタ
- ・尚美堂、ドリームパークゆめ工房、
- ・スーパーあづま屋、お菓子のあづ



ま屋

以  
上

ス、スープーあづま屋、お菓子のあづ

・の塾、多良見住宅、㈲喜々津青  
・果、㈲丸創建材店、㈲みづほ、㈲  
・南部建設工業、㈱長崎スクラップ  
・センター、㈱清紀運輸、㈱ナカム  
・ラ、喜々津ホーム、はんセンタ

・尚美堂、ドリームパークゆめ工房、  
・スーパーあづま屋、お菓子のあづ

◇節分祭特別協賛商社芳名

関山祥一（長崎市）、黒木建設㈱、  
㈱石橋工業、喜々津カントリー俱  
樂部、㈱カステラ本家福砂屋多良  
見工場、喜々津青果、㈱森開発、  
㈱森住宅、スナックアロン、㈲多  
良見碎石、㈲南部建設工業、ヤマ  
エ久野㈱長崎支店、㈱唐草、中  
村医院、大石ボディ、㈲徳永自動  
車、西部ガスエネルギー㈱長崎支  
店、㈱アサヒ、㈲後田塗料商事、  
松尾装業、アルファ印刷、アポロ  
カーズ、慈恵病院、㈲森商会、㈲  
やまぐち住建、㈱溝上建裝、共栄  
機械工事㈱九州支店、総合アルミ、  
㈱長崎ニチボー、㈱吉川金属商事、  
竹迫整形外科、松屋眼科医院、た  
か動物病院、㈲喜々津新聞販売セ  
ンター、㈲多良見住宅、㈱小島工  
作所、㈲あづま屋、㈲菅原産業、  
㈲もろおか薬品、山崎活魚店、や  
の皮ふ科、犬尾胃腸科外科医院、  
山口歯科医院、喜々津美容室、㈱  
雄苑、ますだ小児科内科医院、  
大久保クリニック、徳永建設㈱、  
濱田心緑園、マエダ住宅㈱、㈲カ  
ーセンター・エー・ピー、つくし  
書道教室、西原電気商会、㈲吉野  
企画建設



— 尺八の奉納演奏 —

水口潤二

以上

平成二十六年  
**皇紀二六七四年**

## 紀元祭を斎行！

に酔いしれた様子でした。

次に尺八を伴奏として「紀元節の歌」を参列者全員で齊唱、最後に

総代会長、評議員代表に続き参列者が順次玉串を捧げ拝礼を行い、

午前十時に祭典が開始され、先

ず宮司が祝詞を奏上。先人の建国

の苦労を偲ぶとともに皇室の弥栄

と氏子崇敬者を始め、すべての國

民の幸を祈念しました。引き続き

喜々津三曲会（吉見哲山会長）会員

五名により尺八の奉納演奏が行わ

れました。先ず「越天楽」続いて

「若葉」と二曲を神前に奉奏、參

列者の誰もが尺八の心地よい音色

一、鏡餅一重 中村晋殿

一、蜜柑枝 松尾龍義殿

一、初穂料 中村晋殿

一、初穂料 德永孝次殿

一、初穂料 石丸義雄殿

一、初穂料 倉永幸泰殿

一、初穂料 松尾興一郎殿

一、正月奉獻酒 太田商店殿

一、正月奉獻酒 江崎譲一殿

一、正月奉獻酒 德永建設殿

一、正月奉獻酒 濱谷川建設殿

一、正月奉獻酒 松尾清人

一、正月奉獻酒 野徹

一、正月奉獻酒 大久保治賢

一、正月奉獻酒 宮嶋博

一、正月奉獻酒 本熟

一、正月奉獻酒 實・北島守幸・木下正儀・中村和

一、正月奉獻酒 廣・嶋田彌八郎・松本淳・松尾

一、正月奉獻酒 勝喜・前田信太郎・草野榮・岩

一、正月奉獻酒 永隆行・木下剛・松森恒一・山

一、正月奉獻酒 口眞昭・松崎章雄・小川虎彦・吉

一、正月奉獻酒 野徹・大久保治賢・宮嶋博・

一、正月奉獻酒 松尾清人

◆あとがき◆

二月十七日のソチ五輪で久しぶりに「日の丸飛行隊」の勇姿を見た▼十六年前に長野五輪で金メダルを獲得した日も二月十七日となり興奮した▼明治時代、日本で初めてスキーの指導をしたのは、オーストリアから招聘されたテオドール・レルヒ少佐で、メンバーの清水礼留飛（れるひ）選手の名前は、このレルヒ少佐にちなんで付けられたという▼「日の丸飛行隊」の勇姿を次回も見たいくと思う。

新年を迎えるに当たり以下の通り奉納を賜りました。篤く御札を申し上げます。また毎月境内の掃除をしていただく老人会誠会の皆様に感謝いたします。

◇奉納御礼◇

◇初穂料◇

㈲森商会 森 誠司・多良見漁協

木下和幸・喜々津三曲会・山口初

實・北島守幸・木下正儀・中村和

廣・嶋田彌八郎・松本淳・松尾

勝喜・前田信太郎・草野榮・岩

本熟・山田明・蔭山勇・持

口眞昭・松崎章雄・小川虎彦・吉

野徹・大久保治賢・宮嶋博・

松尾清人

十八銀行多良見町支店長 矢野祐介

親和銀行多良見支店長 山下博

たちばな信用金庫多良見支店長

勇姿を次回も見たいくと思う。

## 平成二十六年「歌会始」御題「静」

御  
製

慰靈碑の先に広がる水俣の

海青くして静かなりけり

皇后陛下御歌

み遷りの近き宮居に仕ふると

瞳 静かに娘は言ひて發つた

ひとみ

た

新春恒例の「歌会始」の御儀が  
一月十五日午前皇居・正殿「松の  
間」でおこなわれました。今年は  
国内外から二一、六八〇首の詠進  
歌が寄せられたそうです。

宮中の新年行事の最後を締めく  
くる「歌会始」に一般の詠進が認  
められたのは明治七年、特に優れ  
たものを選歌として披講されるよ  
うになつたのが明治十二年、現在  
のような「歌会始」の形に定着し  
たのは、昭和三年からといわれま  
す。皇室と国民を繋ぐ「歌会始」  
に参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項（抜粋）

一、お題 「本」

お題は「本（ほん）」ですが、「ほ  
ん」「ほん」「もと」と等のように  
読んでもよく、「本」の文字が詠み  
込まれていれば差し支えありません。  
さらに、本を表す内容であれば、  
「本」の文字がない場合でも差  
し支えありません。

二、詠進要領

- ①お題を詠み込んだ自作の短歌で  
一人一首、未発表のもの。
- ②半紙（習字用半紙）を横長に用い、  
右半分にお題と短歌、左半分に郵  
便番号、住所、電話番号、氏名  
(ふりがな)、生年月日及び職業  
(具体的に)を縦書きで明記。

三、注意事項

次の場合は失格となります。  
①お題を詠み込んでいない、短歌  
の定型でない、用紙が縦長の場合。  
②一人で二首以上詠進した場合、  
毛筆でない場合。  
③すでにに発表された短歌と同一、  
または著しく類似する場合。  
④詠進歌を歌会始の行われる以前  
に、新聞、雑誌その他の出版物・  
年賀状等で発表した場合。

四、郵便のあて先

「〒一〇〇一八一一日内庁」  
宛とし、封筒に「詠進歌」と書き、  
詠進歌は小さく折つて封入する。

九月三十日の消印まで有効。

◆総代会の事業報告◆  
平成年度中の総代会の事業（活動）の内、主要な事項を抜粋して報告します。

平成二十五年 四月十一日

神社総代会西彼支部理事会が時  
津町で開催され、前田総代会長  
が西彼支部長に選任される。

平成二十六年 一月一日

総代会を開催（一名が交代）

予決算書他の審議

定例評議員会を開催

五月二十四日

予決算書他の審議

今年度の監事選任

五月二十六日

相撲大会の収支報告など

六月二十七日

田祈禱祭参列

七月二日

総代会支部研修会（西彼町）

十月十五日

例祭（喜々津くんち）参列

十一月一日

長崎県神社庁主催の「教養研修

会」に参加。総代四名

十二月二十三日

九州国立博物館で講演を拝聴し

事の終了（午後九時）まで従事、

その後片付けをして解散

二月二十一日

節分祭に参列、火焼神事を管理

午後二時に集合し、節分祭諸行

事の終了（午後九時）まで従事、

その後片付けをして解散

二月二十二日

九州国立博物館で講演を拝聴し

「国宝大神社展」を見学、太宰

府天満宮、竈神社を参拝する。

三月二十六日～二十八日

節分祭火焼神事の消却残灰の分

別及び処理作業

四月二十九日

伊勢神宮参拝旅行の企画と実施

・門松を作成し設置。鳥居への竹

・門松用の竹切り、正月用のテン

ト設置、看板の設置作業など

・第六十二回神宮式年遷宮奉贊

・伊勢神宮参拝旅行の企画と実施

椎の木の取り付け作業

・御神酒（樽酒）の鏡割り、かがり

火の管理、初詣参拝客へ御神酒

を振る舞う。（午前二時まで）